

平成 29 年 3 月 4 日

関係者各位

日本学生トライアスロン連合
2017 年度 学生委員長 滝本裕巳

2017 年度日本学生トライアスロン選手権 出場資格について

以下の 3 通りの方法

- 地域予選からの出場
- シード権を使つての出場
- 代替予選からの出場

1. 地域学生トライアスロン選手権において、通過枠内の順位に入る。

	男子	女子
北海道	4 (±0)	2 (±0)
東北	13 (-3)	2 (±0)
関東	82 (+1)	35 (-1)
東海北陸	12 (+2)	2 (-1)
近畿	21 (+1)	6 (+1)
中国四国	9 (-1)	1 (±0)
九州沖縄	11 (±0)	4 (+1)
合計	152 (±0)	52 (±0)

※カッコ内は前年からの増減数

※出場枠の計算については別紙参照

各地域予選通過者がインカレ出場辞退を表明した場合以下の順でロールダウンが発生する。

- 男子 関東、近畿、関東、東海北陸、九州沖縄、東北、関東、関東、中国四国、東海北陸、近畿、九州、
- 女子 関東、関東、中国四国、東北、九州、近畿、東海北陸、北海道

2. シード権を獲得する

- ・2016 年度日本学生トライアスロン選手権男女各上位 6 名
- ・JTU 強化指定選手
- ・JTU ジュニア強化指定 S・A・B・C 選手
- ・JTU 認定記録会 7 級以上

※前年度から今年度のインカレの間に獲得したものに限る。

- ・理事長推薦

(過去の大会成績等の客観的な理由で、インカレにおいて上位成績を残すことを期待でき、且つ特別な事情でインカレ出場権利を保持していないと認められる選手)

※申請がある都度審査いたしますので、該当すると思われる選手は学連のメールアドレスへご連絡ください。

3. 代替予選を利用する

■対象選手

- ・最終学年の大学生・最終学年の短大生・大学院生

公務員試験、大学院試験、年に一度のみの国家試験により、やむを得ず所属地域の予選会に出場できない場合。

- ・各地域予選当日に大会運営に関わる者

日本学生トライアスロン連合大会運営委員長の承認が必要。

所属地域の大会運営に携わらなかった場合、出場権を剥奪します。

- ・国体予選とインカレ地域予選の日にちが重なった選手

国体予選に出場しなかった場合 (DNS 含む) は、出場権を剥奪します。

- ・その他、特別に出場を認める選手

不正など厳罰に対処するために、基本的には採用いたしませんので、上記の方法を利用してください。

■手続き（申請締切りは、参加希望大会の申込締切りの2週間前。）

1、以下の形式で、日本学生トライアスロン連合(jutu08_info@yahoo.co.jp)に申請。

件名： 代替予選申請 /氏名

本文： 氏名・大学名・学年・住所・メールアドレス・申請理由・代替希望大会名

2、学連が代替予選を利用するのが適当であると認めた場合、送られてくる誓約書を返信。

※必要に応じて、客観的な証明書を求める場合があります。

3、代替予選大会の要項に従いエントリー

■通過条件

参加代替大会の予選最終通過選手のタイムを基準とする。

ただし、代替大会が設けている予選通過人数を超える代替予選利用選手の予選通過は認めない。2つ以上の地域予選が併催の場合、通過人数の少ない方を基準とする。

Ex. 今年度共催予定の東海北陸及び近畿予選（女子）に他地域から4名の代替予選利用選手が参加した場合。

まず、東海北陸予選3位と近畿予選5位のタイムの遅い方がボーダーとなる。しかし、代替予選利用者4名全員がそのボーダーをクリアした場合は、通過枠の少ない東海北陸の枠数を基準として、その4名のうち上位3名のみの予選通過となる。

以上